



どうやって、伝える内容を考えたらいいの？

児童に、どうやって内容を検討させたらいいのかな…



目的や意図に応じて、伝え合う内容は変化するものです。児童から出た考えを、児童たち自身が目的や意図に応じて選別したり吟味したりする授業展開を考えましょう。

★目的や意図に応じて（場面や状況を考慮する）…

①児童の**目的意識**を明確にする

- ・ **何のため**に伝え合うのか意識させる
- ・ 自分が**伝えたいこと**の優先順位を考えさせる

②児童に**相手意識**をもたせる

- ・ 聞き手が**興味**を持っていることや聞きたいことは何かを意識させる
- ・ 聞き手が**求めていること**に応じて集めた材料をどのように整理すればよいかを考えさせる

★集めた材料を分類したり関係付けたりして…

○内容を具体的に考え、関係する材料を**可視化**させる

集めた材料をメモする、図式化する、カードや付箋にする等

- ・ **共通点**や**相違点**などによって内容ごとにまとめさせる
- ・ 伝えたい**優先順位**を決めさせる

聞き手が知りたいこと
自分が伝えたいこと



「伝え合う内容を検討する」

指導のポイントにズームイン！！

単 元 名 学校生活をよりよくするための取組について伝えよう（A話すこと・聞くこと）
言語活動 学校をよりよくするためのイベントを考えて自分の意見や提案を話したり、聞いたりする活動
教 材 「提案します、一週間チャレンジ」（東京書籍 新しい国語五）



【話題の設定、情報の収集】は、（話すこと）（聞くこと）（話し合うこと）に共通しています。ここでは、第1次の授業アイデアを見ていきましょう。

学習過程 (話すこと)	次	時	主な学習活動
話題の設定	1	1	○見通しを持つ この单元では、学校生活をよりよくするために、取り組んでみたいイベントや取り組みを考えて提案するスピーチをします。
情報の収集			・单元を通して身に付ける力を確認する。 ・話題の内容を確認する。 ・モデル動画を見て、最終的なゴールのイメージを持つ。 ・学級の友達にどのような提案をするか考える。 ・伝える内容の検討をする。
内容の検討			内容について検討する観点は、目的である「学校生活をよりよくするもの。学校生活をより楽しくするもの。」ですよ。
構成の検討	2	2	○印象に残る提案について考える ・提案のメモを作成し構成を考える。
考えの形成		3	・印象に残る提案の仕方を考える。 ・モデルの動画を参考にしたり、自分のスピーチを撮影したり、友達にアドバイスをもらったりしながら、よりよいスピーチになるよう考え練習する。
表 現	3	4	○発表を聞き合う ・聞き手の印象に残るような工夫はどのようなものであったかを観点に聞き合う。
共 有			・身に付いた力について振り返る。

【第1時】伝える内容を検討させる場面

可視化



学校生活をよりよくするために、取り組んでみたいイベントを考えて付箋に書いて内容を検討しましょう。

一人一人が成長

なんでも
チャレン
ジ週間

友達のよいところを見つける

みんなが
笑顔週間

友達のよ
い所を探
そう週間

気持ちのよい生活

明るいあ
いさつ週
間

黙々びか
ぴか清掃
週間

《ある児童の内容検討メモ》



いろいろ考えてみたけれど、「友達のよい所を見つけられる提案」がいいかな。友達がうれしくなるだろうし、学校生活がよくなる楽しい提案になりそうだな。

主体的
対話的で
深い学び

小学校
国語
(話すこと
聞くこと)

調査結果の分析(児童のつまずき)と授業改善の視点

児童は「集めた材料を整理すること」「伝え合う内容を検討すること」につまずいていることが分かりました。授業改善では、目的意識・相手意識を明確にし、集めた材料を関係付けて可視化できるような指導を重視する必要があります。

5・6年 A 話すこと・聞くこと ア【話題の設定、情報の収集、内容の検討】

宮城県県の解答類型と反応率

設問一 正答	59.6%	3と解答
誤答1	21.3%	
誤答2	9.9%	
誤答3	8.8%	
上記以外	0.0%	
無解答	0.3%	

宮城県平均正答率

59.6% 全国との差 -2.9P

全国平均正答率 62.5%

出題の趣旨

設問一
目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。

つまずきチェック

- ・自分の目的や意図、聞き手の求めていることに応じて集めた材料の整理の仕方を考えること。
- ・目的や意図に応じて、伝えることの優先順位を考えること。

令和6年度調査問題

【和田さんに届いたメールの内容】

海風小学校 和田 みなみさん

はじめまして。
深緑小学校の村木です。わたしの学校は、全校で105人います。学校の周りには、茶畑が広がっています。今、わたしががんばろうと思っていることは、図書委員として、本が好きなお子を増やすことです。オンライン交流では、和田さんの学校の図書委員会の取り組みを教えてください。次は、村木さんからお話を聞かせてほしいです。
当日を楽しみにしています。よろしくお願いします。

深緑小学校 村木 かおる

① 海風小学校の和田さんの学級では、「深緑小学校と学校の取り組みをオンラインでしようかいいし合うことになりました。和田さんは、深緑小学校の村木さんといういいし合うこととしています。次は、村木さんから事前に「和田さんに届いたメールの内容」です。

【和田さんのメモ】

村木さんが知りたいこと 図書委員会の取り組み ○読書イベント ・月に1回 ・クイズなど	自分が伝えたいこと ○アイデア給食 ・年に2回 ・自分たちが考えた こんだて
これは伝えたい	地域ならではの取り組み ○総合的な学習の時間 ・海の生き物の調査 ○すなはまの清そう活動 ・学期に1回
質問されたら答える	○音楽クラブの演奏会 ・たんの楽器は木さん ・地いきの行事に参加
用意するもの ・クイズが書かれたカード ・海の生き物の写真	

二 和田さんは、「和田さんに届いたメールの内容」を受けて、しようかいいする内容を、次の「和田さんのメモ」のように整理しました。和田さんは、どのように整理しましたか。その説明として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 おたがいの学校の取り組みのよい点を比べて、伝えることを明確にした。
- 2 おたがいの学校の取り組みの問題点を比べて、伝えることを明確にした。
- 3 相手が知りたいことを取り入れて、優先して伝えることを明確にした。
- 4 自分が知りたいことを取り入れて、優先して聞くことを明確にした。

宮城県県の解答類型と反応率

設問三 正答	60.4%	4と解答
誤答1	6.1%	
誤答2	15.4%	
誤答3	17.3%	
上記以外	0.1%	
無解答	0.7%	

宮城県平均正答率

60.4% 全国との差 -3.4P

全国平均正答率 63.8%

出題の趣旨

設問三
目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。

つまずきチェック

- ・自分が伝えたいことと聞き手の求めていることに応じて情報を整理すること。
- ・情報を整理することのよさを考えること。

【オンライン交流の様子の一部】

～(前略)～

- ⑭ はい。給食の時間が楽しみです。ところで、和田さんの学校は、海に近いということですが、他にも、海に近い学校ならではの取り組みはありますか。
- ⑮ えっと…(【和田さんのメモ】を見返す)、二つあります。総合的な学習の時間の取り組みと、砂浜の清掃活動です。
- ⑯ 二つもあるんですね。ぜひ、一つ一つくわしく教えてください。
- ～(交流が続く)～

二 和田さんは、「和田さんのメモ」を生かして、村木さんとオンラインで交流しました。次の「オンライン交流の様子の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましよう。

- 1 相手の学校の「地いきならではの取り組み」に関する情報を整理していたことで、事実と感想とを区別して伝えることができた。
- 2 相手の学校の「地いきならではの取り組み」に関する情報を整理していたことで、複数の情報をまとめて伝えることができた。
- 3 自分の学校の「地いきならではの取り組み」に関する情報を整理していたことで、事実と感想とを区別して伝えることができた。
- 4 自分の学校の「地いきならではの取り組み」に関する情報を整理していたことで、複数の情報をまとめて伝えることができた。

三 和田さんは、「オンライン交流の様子の一部」をかり返り、発言⑮のところで、「和田さんのメモ」が役に立ったことに改めて気づきました。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

児童のつまずきから考える 授業改善のポイント～書くこと編～

小学校
国語



自分の考えが伝わる
ような文章って、どう
書いたらいいのかな…

どのようなポイントに着目
させれば、考えが伝わるよ
うに書かせられるだろう？



事実と感想、意見とを区別して書くなど、**自分の考えが
伝わる書き表し方**になるよう工夫させましょう！



★自分の考えが伝わる書き表し方の工夫とは…

①事実を客観的に書くこと

②事実と感想や意見との関係を十分捉えて書くこと

取り
入れ
たい
活動

- ・ ①、②にどんなよさがあるのかを考えさせる活動
- ・ 事実と感想や意見との相違に児童が気付くための活動
- ・ 取り上げた事例が自分の考えを裏付ける内容であるか、
確認させる活動

■国語（全領域共通）の授業づくりのポイント■

国語の指導においては、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」との指導事項を関連付けて指導するとともに、単元を通して「どのような力を身に付けるのか」「何がどのようにできればよいのか」を児童と共有して授業を行うことが大切です。

また、児童の実態を踏まえて教師が事前に言語活動例や文章例を作成しておくことも必要です。例を作成することで単元のゴールが明確になり、またその例が評価の指標の一つにもなります。

さらに、年間の単元の系統性を踏まえ、重点指導事項や言語活動を精選して、単元計画を練ることが重要です。



[指導のポイントへ](#)



[学力調査結果へ](#)

「自分の考えが伝わる書き表し方」

指導のポイントにズームイン！！

単 元 名 地域の魅力を伝えるタウン誌の記事を書こう（B書くこと）
 言語活動 伝える情報を整理して、地域の魅力を紹介するタウン誌の記事を書く活動
 教 材 「地域のみりよくを伝えよう」（東京書籍 新しい国語五）



次	時	○主な学習活動	【 】…B書くことの指導事項
1	1	○単元の学習の見通しを持つ ・単元を通して身に付ける力と言語活動を確認する。 ・モデル例を見て、タウン誌に必要な情報や書き方を知る。	
2	2	○題材について調べて情報を収集する【題材の設定、情報の収集】 ・調べる題材（場所、催し物、食べ物など）を考える。 ・地域の魅力となる情報を収集する。	
	3	○調べた情報を整理する【内容の検討】 ・共通点や相違点に着目して比べたり、分類したりする。 ・自分が伝えたいことを焦点化する。	
	4	○タウン誌の記事の構成を考える【構成の検討】 ・調べた事柄のつながりを意識して、書く内容の中心を明確にして構成メモを作成する。	
	5	○タウン誌の記事を書く【考えの形成、記述】 ・構成メモを基に、タウン誌の記事を書く。 ・文末表現に注意して、調べた事柄と考えを区別して書く。	
	6	○書いた記事を読み合い、学習のポイントを再確認する【推敲】 ・相手や目的を意識した内容、表現になっているか、確認する。	
3	7	○単元の学習を振り返る【共有】 ・仕上げた記事を読み合う。 ・単元を通して身に付けた力について確かめる。	

児童が「地域の魅力を伝える」という目的意識を明確に持てるように、単元の導入を工夫しましょう。

他教科と関連付けたり、事前に告知したりして、広く情報を収集できるようにしておきます。

表や付箋、シンキングツールを活用して可視化することで、児童の思考の活性化を促します。

構成メモを基に文章を書く場面では、必要に応じて書き出し例や指示する語句と接続する語句、文末表現などを例示するとよいですね。

【第4～6時】構成メモを基にタウン誌の記事を書く

○児童が作成した構成メモ

始 め	どう入 ・取り上げる題材 ・問いかけ
中	しょうかいする地いきのみりよく ① 重要文化財（〇〇神社） →400年前に作られ、今も残っている。 （事実） →パワースポットとして有名（考え） ② 古民家カフェ →人が住まなくなった家屋をリフォームした（事実） →古いものを生かす工夫をしている点がすごい（考え）
終 わ り	まとめ ・自分の考え ・よびかけ



書いた記事をお互いに読み合って、伝えたいことが明確になっているか話し合ってみましょう。書くときに悩んだ点を事前に伝えると話し合いやすくなりますね。

○児童が書いた記事の一部

一つ目は、重要文化財に指定されている〇〇神社があることです。〇〇神社は400年前に作られました。何度か修理はしているそうですが、今も昔の姿のまま残っています。パワースポットとして有名で、週末には多くの方がおとずれています。



構成メモを生かして記事を書いてみたけど、何か足りないように感じるんだよね。



「事実」しか書かれていないからじゃないかな。どんなみりよくがあるのか、自分の「考え」を付け足すと、読む人への伝わり方が変わると思うよ。



そうか。パワースポットのところは「考え」だと思っていたけど、「事実」なんだね。私が思う重要文化財のみりよくを書き足してみるね。



事実を基に、自分の考えを書くというつながりに気付きましたね。

主 体的
対 話的で
深 い学び

小学校
国語
(書くこと)

調査結果の分析(児童のつまずき)と授業改善の視点

児童は「自分の考えを書く」ことにつまずいていることが分かりました。授業改善では、自分が伝えたいこと(考え)を明確にし、取り上げた事実が自分の考えを裏付けるものであるかを確認できるような指導を重視する必要があります。

5・6年 B書くこと ウ【考えの形成、記述】

令和6年度調査問題

〇〇【条件】
〇〇【高山さんの文章】
〇〇【高山さんのメモ】
〇〇【高山さんの取材メモ】
〇六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【高山さんの文章】

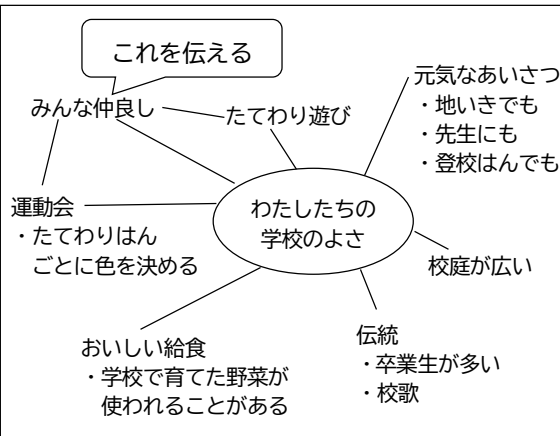
みんな仲良し「たてわりはん」
わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。
(中略)。
「たてわり遊び」は、毎月1回休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをなげるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について
6年生がくふうしていること
〇遊びたいことを下級生に聞く
〇ルールをくふうする
ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる
下級生に聞いたこと
〇1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
〇3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
〇4年生 みんなが楽しそうでうれしかった

二 高山さんは、次の【高山さんの文章】の「たてわり遊び」のよさを書くこととしています。あなたが高山さんなら、【条件】に合うように書きましよう。

【高山さんのメモ】



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。

② 高山さんの学級では、学校のよさを伝える文章を書くことにしました。高山さんは、学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことを決めました。次は、【高山さんのメモ】と【高山さんの考え】です。

正答の条件

- 条件① 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いている。
条件② 【高山さんの取材メモ】の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書いている。
条件③ 60字以上、100字以内で書いている。

宮城県の解答類型と反応率

正 答	53.4%	条件①、②、③を満たしているもの
誤 答 1	0.9%	条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの
誤 答 2	1.2%	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの
誤 答 3	34.4%	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの
上記以外	4.5%	
無解答	5.6%	

宮城県平均正答率

53.4% 全国との差 -3.2P

全国平均正答率 56.6%

出題の趣旨

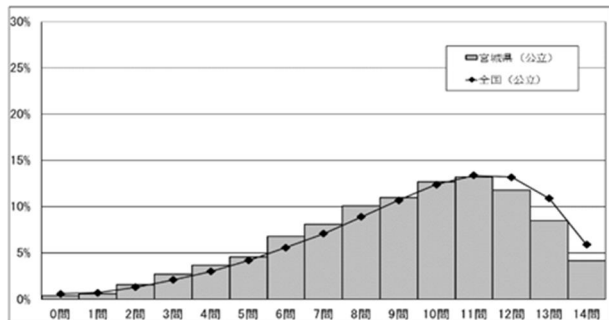
目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

つまずきチェック

- ・書く目的や意図を明確にすること。
- ・自分の考えを明確にすること。
- ・取り上げた事実が自分の考えを裏付けるものになっているかどうか、事実と考えを混同して書いていないかを確認すること。

小学校国語科の調査結果

(1) 正答数分布状況



(2) 平均正答率の推移

年度	正答率 (%)		
	宮城県 (公立)	全国 (公立)	かい離
令和 6	65%	68%	-3
令和 5	65%	67%	-2
令和 4	62%	66%	-4

(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

調査結果概要

	宮城県 (公立)	全国 (公立)
対象児童数	9,231人	947,364人
平均正答数	9.1問／14問	9.5問／14問
平均正答率	65%	68%
中央値	10.0問	10.0問
最頻値	11問	11問

領域別の平均正答率

学習指導要領の内容		問題数	正答率 (%)	
			宮城県 (公立)	全国 (公立)
知識及び技能	言葉の特徴や使い方	4	60.5	64.4
	情報の扱い方	1	84.7	86.9
	我が国の言語文化	1	74.4	74.6
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3	55.8	59.8
	書くこと	2	65.9	68.4
	読むこと	3	70.1	70.7

(3) 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の かい離 (①―②)	無解答率の かい離 (③―④)	
		知識及び技能																	思考力、判断力、表現力等
		(1) 言葉 の特徴や 使い方に 関する 事項	(2) 情報 の扱い方 に 関する 事項	(3) 我が国 の言語文 化に 関する 事項	A 話すこと・ 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技 能	思考・判 断・表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	選 択 式	短 答 式	記 述 式	①宮城 県 (公立)	②全国 (公立)	③宮城 県 (公立)			④全国 (公立)
1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する				5・6 ア				○		○			59.6	62.5	0.3	0.7	-2.9	-0.4
1二 (1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	5・6 イ							○		○			72.2	75.9	0.3	0.6	-3.7	-0.3
1二 (2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する				5・6 ウ				○		○			47.3	52.9	0.3	0.7	-5.6	-0.4
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する				5・6 ア				○		○			60.4	63.8	0.7	0.9	-3.4	-0.2
2一 (1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する					5・6 ア			○		○			78.5	80.3	0.5	0.9	-1.8	-0.4
2一 (2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する		5・6 イ						○		○			84.7	86.9	0.4	0.9	-2.2	-0.5
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く					5・6 ウ			○			○		53.4	56.6	5.6	4.9	-3.2	0.7
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（きょうぎ）	5・6 エ							○			○		37.2	43.4	15.3	13.2	-6.2	2.1
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す（なげる）	5・6 エ							○			○		72.0	76.0	8.5	8.0	-4.0	0.5
3一	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	3・4 カ							○		○			60.5	62.3	1.0	2.0	-1.8	-1.0
3二 (1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話しかけていると考えられるところとして、適切なものを選択する						5・6 イ		○		○			63.8	66.9	1.3	2.6	-3.1	-1.3
3二 (2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する						5・6 エ		○		○			73.4	72.5	1.4	2.9	0.9	-1.5
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く						5・6 エ		○			○		73.0	72.6	11.4	12.6	0.4	-1.2
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する			5・6 オ					○		○			74.4	74.6	4.3	7.6	-0.2	-3.3

※網掛けは、本報告書で取り上げた問題を示す。

生徒のつまずきから考える 授業改善のポイント～読むこと編～

中学校
国語



要約ってどこをまとめればいいのか分からない…

要約の指導…全体を短くまとめられればいいのか…



「なんのために」という目的に応じて要約することが大切です。目的によって必要な情報も変わってきます。



(1)目的に応じて…

- ・「概略を理解するため」文章全体を短くまとめさせる
 - ・「情報を他者に伝えるため」必要な部分を取り出してまとめさせる
- 他にも「自分の考えの整理」「文章構造の把握」等、読者にとって必要な情報は異なります

(2)必要な情報に着目して…

- ・どこに、どのような情報が書いてあるか把握させる
 - ・目的に応じたキーワードを確定させる
- 抽出した情報が、要約の目的に応じたものであるか確認します

(3)要約する…3つの照合

- ・「目的」と「必要な情報」を照合させる
 - ・「着目する内容」と「自分が書いた要約」を照合させる
 - ・「自分が書いた要約の内容」と「本文の内容」を照合させる
- 3つの照合で、必要な情報を過不足なく入れることが大切です

■要約する力を身に付けさせるポイント■

要約する力は文章の構造と内容の把握をする上でも大いに役立ちます。そのためにも、授業の準備として教師が自分で要約文を書いてみることです。教材研究が深まり、自信を持って生徒が書いた要約の過不足を指摘できるようになります。その上で以下のことを授業に取り入れてみましょう。

- 生徒が書いた要約に対して端的な評価（傍線を引いて一言コメントを付す、10点満点で採点する等）をして、つまずきを自覚させます。その上で、書き方を指導し、再挑戦させましょう。「これなら書けそう」という予感を抱かせ、2回目の方が良くなったことを実感させます。
- 年間に何回か教科書教材を要約する活動を取り入れてみましょう。繰り返すことで要約する力が身に付いていきます。既習事項の活用場面を、教師が意図的に設定することが大切です。



[指導のポイントへ](#)



[学力調査結果へ](#)

「目的に応じて必要な情報に着目して要約する」 指導のポイントにズームイン！！

単元名 「私のタンポポ研究」を、目的に応じて要約しよう
言語活動 選択した課題（目的）に応じて必要な情報に着目して、要約する活動
教材 「私のタンポポ研究」（東京書籍 新しい国語1）



「要約」は生活や学習のどのような場面で役立っているかな。

自分が見た動画の内容を友達に分かりやすく伝えるときに役立っています。

調べ学習で、たくさん調べたものから必要な情報だけを取り出すのに役立っています。

行事の振り返りの作文を書くときに中心となる出来事をまとめるのも要約かな。



みんなは、小学校3年生で学んだ「要約」の力を様々な場面で役立てていますね。今回の単元では、その力を土台として「目的に応じて必要な情報を要約する」力を高めていきます。そのために「私のタンポポ研究」について、次の二つの課題から一つ選んで要約する活動を行います。

課題① 筆者がタンポポの謎を解くまでの思考過程をまとめる（170字）

課題② 筆者が行ったタンポポについての実験過程をまとめる（300字）

既習事項（要約）が、多様な場面で活用されていることを実感させ、その力を土台として学習を進める見通しを持たせます。

時	学習活動
1	○「要約」の意義について考える。 ○単元の見通しを持つ。 ○本文を読む。 ○意味調べを行う。
2	○文章の構成を捉え、筆者が持ったタンポポの謎について要約する。
3	○本論部分に書かれている二つの実験について捉える。
4	○要約の手順を言語化する。
5	○課題を選択し、要約する。 ○教師が用意した要約文を基に、見直しの観点について考える。 ○要約文を見直す。 ○要約文を友達と交流し、単元の振り返りを行う。

その他のポイント

○言葉の意味を（前後の文脈から）予想させた後に辞書で意味調べさせることで、初見の文章を読むときに、分からない言葉が出てきても意味を類推しながら読む習慣付けをします（例「在来」「外来」）。

○要約の手順を言語化しやすくするために、第2時に「筆者が持ったタンポポの謎」について要約する活動を入れ、それを基に要約の手順を言語化させるという流れにします。

○資質・能力の育成のために、要約を見直す学習活動の前に、一度教師が評価し、適切な助言を行うことで、生徒自身が改善のポイントをつかめるようにすることが重要です。



（教師が作成した要約文を示して）
この要約した文章の改善すべき点はどのような点だと考えますか。

教師が作成する要約文のポイントは、

要約したものと本文の内容が違う部分があります。

言葉を言い換えた部分が、筆者が表現していることと異なっていると思います。

目的を考えると、必要な情報が足りないように思います。



今、気付いたことを観点に、自分が要約した文章を見直そう。



これまでの学習で培ってきた力で「要約」に取り組ませ、その後、教師の指導助言や本人の気づきを基に要約したものを見直す活動を取り入れることで、資質・能力の育成を目指します。

生徒は「必要な情報に着目する」ことにつまずいていることが分かりました。授業改善では、生徒が重要な情報を見つけ出し、その情報を要約できるようにする細かい手立てが大切です。

令和6年度調査問題

「本文に書かれていることを理解すること」が「目的」です。次に、「着目する内容」を決めます。「着目する内容」は目的に応じて変わります。今回の選択肢「ア」は例示に、「イ」は主張に着目しています。「目的に応じて要約する力」と、「文章の中に示されている主張と例示との関係を捉える力」には相関関係があります。

【ワンポイント分析】

四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで要約しなさい。

ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて。

イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(園池公毅『植物の形には意味がある』による。)

正答の条件

- ① アとイのいずれか一つの〈着目する内容〉を選んで、その記号を塗り潰している。
- ② 選んだ〈着目する内容〉について、必要な情報を適切に取り上げて書いている。
- ③ 選んだ〈着目する内容〉について、まとめて書いている。

宮城県の解答類型と反応率

正答 36.5% 条件①、②、③を満たして解答しているもの

誤答1 0.0% 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの
 誤答2 39.1% 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
 上記以外 14.9%
 無解答 9.4%

宮城県平均正答率

36.5% 全国との差
-6.1P

全国平均正答率
42.6%

出題の趣旨

目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる。

つまずきチェック

- ・目的に応じて必要な情報を不足なく取り上げて書くこと。
- ・選んだ〈着目する内容〉と自分が書いた要約とを照らし合わせて、必要な情報を十分に取り上げているかを確認すること。
- ・選んだ〈着目する内容〉について、本文の内容を正確に捉えて要約すること。

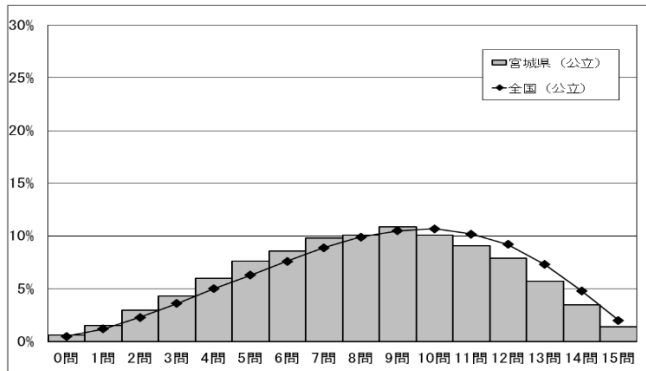
令和6年度公立高等学校入学者選抜 学力検査との関連

第四問の問四では文章全体から要旨を捉えた上で表現することに課題があった。また、問五では、文章中の中心的部分なのか付加的部分なのかを判断したり、全体と部分との関係を捉えたりすることができていなかった。これらは、要約における「目的に応じて必要な情報に着目」することとも関連している。

(令和6年度公立高等学校入学者選抜 学力検査の分析結果P59参照)

中学校国語科の調査結果

(1) 正答数分布状況



(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

調査結果概要

	宮城県 (公立)	全国 (公立)
対象生徒数	8,577人	875,574人
平均正答数	8.2問／15問	8.7問／15問
平均正答率	55%	58%
中央値	8.0問	9.0問
最頻値	9問	10問

(2) 平均正答率の推移

年度	正答率 (%)		
	宮城県 (公立)	全国 (公立)	かい離
令和 6	55%	58%	-3
令和 5	68%	70%	-2
令和 4	68%	69%	-1

領域別の平均正答率

学習指導要領の内容		問題数	正答率 (%)	
			宮城県 (公立)	全国 (公立)
知識及び技能	言葉の特徴や使い方	3	53.9	59.2
	情報の扱い方	2	56.2	59.6
	我が国の言語文化	1	74.9	75.6
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	3	56.0	58.8
	書くこと	2	62.3	65.3
	読むこと	4	44.7	47.9

(3) 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式			正答率 (%)		無解答率 (%)		正答率の かい離 (①－②)	無解答率の かい離 (③－④)
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等														
		(1) 言葉 の特徴や使 い方に関 する事項	(2) 情 報の扱 い方に関 する事項	(3) 我が国 の言語文 化に関す る事項	A 話 すこと・ 聞くこと	B 書 くこと	C 読 むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習 に取り組む態 度	選択式	短答式	記述式	①宮城 県（公立）	②全国 （公立）	③宮城 県（公立）	④全国 （公立）		
1－	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する				1エ			○		○			62.2	63.2	0.2	0.4	-1.0	-0.2	
1二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む				2ウ			○			○		64.8	68.5	3.7	3.5	-3.7	0.2	
1三	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する		1ア					○		○			41.0	44.0	0.3	0.5	-3.0	-0.2	
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く				1オ			○				○	40.9	44.7	11.2	9.9	-3.8	1.3	
2－	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する						2ウ		○		○		34.9	36.3	0.3	0.5	-1.4	-0.2	
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する		2ア					○		○			71.4	75.2	0.4	0.6	-3.8	-0.2	
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する						2ア		○		○		61.0	64.5	0.5	0.6	-3.5	-0.1	
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する						1ウ		○			○	36.5	42.6	9.4	8.4	-6.1	1.0	
3－	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する					1ア			○		○		79.2	81.4	0.5	0.7	-2.2	-0.2	
3二	物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	2オ							○		○		48.5	53.8	0.8	1.0	-5.3	-0.2	
3三	漢字を書く（みちたりた）	2ウ							○			○	64.0	68.8	12.2	10.2	-4.8	2.0	
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する					2ウ			○			○	45.4	49.3	16.7	15.0	-3.9	1.7	
4－	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	1オ							○		○		49.2	54.9	1.6	1.8	-5.7	-0.2	
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える						1イ		○			○	46.5	48.3	3.8	3.4	-1.8	0.4	
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する			1エ(イ)					○		○		74.9	75.6	2.0	2.3	-0.7	-0.3	

※網掛けは、本報告書で取り上げた問題を示す。